

お値打ち焼き物どれかな

常滑市新開町のポートルースとこなめなどで十四日に始まった「第五十一回常滑焼まつり」(中日新聞社後援)は、初日からお値打ちの焼き物を求める買い物が盛況に変わった。

(小西敦紀)

常滑焼まつりにぎわう

従来は八月開催だったに変わ。開会式では片たまつりは、酷暑を避けて岡郷彦市長が「宝探し」けるため今年から十月のように楽しんでもら



える。今までと違ったまつりを楽しんで」とあいさつした。十四、十五両日、ポートルースとこなめのほか、同市金山のセラモール、りんくう町のイオンモール常滑、栄町のやきもの散歩道の四会場で、焼き物の即売や陶芸体験、急須で

お茶を入れる体験などだ。さまざまなイベントが開催される。

ポートルースとこなめでは初日の午前中、常滑焼を使った盛り付け教室を開催。参加者は講師から「大きな背の高い食材は後ろに、小さな背の低い食

べ物は前に置いて」といったアドバイスを受け、おもしろい見え方を見えながら、人がモデルとして参加した。

中目フォトメイツの伊藤彩子さん(二〇)、播本恵美利さん(二〇)の二人がモデルとして参加した。

カメラマン楽しむフォトコンテスト

○会場では十四日、中日写真協会によるフォトコンテストも開かれ、カメラマン三十人が撮影を楽しんだ。



歩数計持って市内歩いてね

十四、十五日の二日間、まつり会場では歩数計を持って市内を歩いてもらう」とこなめ歩き愛です」が開かれています。



歩数計を受け取る歩数愛ですの本部

大勢の来場者でにぎわう会場。いずれも常滑市のポートルースとこなめで

参加費千円で、参加証を兼ねた歩数計を受け取る。一定の歩数を示すと、市内の十五店舗で割引やグッズなどの得点を受けられる特典がある。受け付けはポートルースとこなめ一階。一日二万歩以上歩いた人は、抽選で賞品を受け取れる。

歩数計は持ち帰ることができ、一部店舗ではイベント後もサービスを受けられる。歩き愛です実行委の担当者は「街の活性化にぴったりのイベント」と話している。

カメラマンの前でポーズを取るフォトメイツの二人